

## 総務企画常任委員会所管事項調査報告書

期 日	令和5年5月9日(火)
訪問先	宮崎県都城市
出席者	川口 仁 委員長 高村 真和 副委員長 名切 文梨 委員、神子 雅人 委員、松田 則康 委員、石井 芳隆 委員
随行者	見上副主幹
調査項目	定住自立圏構想について
調査内容	<p>平成21年10月に「都城広域定住自立圏形成協定」を締結し、都城市は中心市として、近隣市町の宮崎県三股町、鹿児島県曾於市、志布志市と相互に役割分担をし、医療・教育・産業振興・地域交通などで連携・協力をして、必要な生活機能等を確保する「定住自立圏構想」を推進し地方圏における定住の受け皿を形成している。宮崎県と鹿児島県にまたがる県境型の圏域で、少子高齢・人口減少社会に対応可能な「集約とネットワークで築く県境を越えた南九州の広域都市圏」を目指している。</p> <p>主な取組としては、防災の道、経済の道、医療の道としての都城志布志道路の全線開通の促進や、南九州の農畜産業の国際競争力の強化や物流拠点としての機能強化が期待される志布志港の整備促進、圏域を巡る婚活バスツアー等があげられる。</p> <p>今後は、令和7年度からの第4次共生ビジョンに向け、圏域の現状と課題の整理及び目指すべき方向性の検討を行う。</p>
主な質疑	<p><b>Q</b> 中心市である都城市では、どのように財源を生み出すのか。</p> <p><b>A</b> ふるさと納税が大きい。毎年寄附総額が都城歴代最多を更新していて、その分税収としても増えている。寄付総額は150億円近くである。</p> <p><b>Q</b> 国からの補助金は。</p> <p><b>A</b> 国からの定住自立圏に取り組む市町村に対する支援は、特別交付税、地域活性化事業債がある。地域活性化事業債の充当率は90%でそのうち交付税算入率は30%である。</p> <p><b>Q</b> 婚活バスツアーで成婚者はどれくらいあるか。</p> <p><b>A</b> 平成29年度から事業開始して、20組のうち毎年1組の成婚者が出ており、全部で6組である。</p>

## 総務企画常任委員会所管事項調査報告書

期 日	令和5年5月10日(水)
訪問先	宮崎県都城市
出席者	川口 仁 委員長      高村 真和 副委員長 名切 文梨 委員、      神子 雅人 委員、      松田 則康 委員
随行者	見上副主幹
調査項目	防災道の駅都城について
調査内容	<p>防災道の駅都城は、令和5年4月22日にリニューアルオープンしたばかりで、厚木市議会総務企画常任委員会が行政視察第1号であった。</p> <p>2021年に国土交通省により「防災道の駅」に選定され、都城市は、帰宅困難者等を一時的に受け入れる「二次避難所」として指定検討中だが、国土交通省緊急災害対策派遣隊（テックフォース）の進出拠点や防災活動拠点に指定されているため、調整が必要になる。また、南海トラフ巨大地震など大規模災害に対応するための非常食を備蓄する倉庫や、避難者が3日間施設を利用できるよう、軽油発電機を2機とトイレ用の貯水タンク1基、マンホールトイレ4個を設置した。</p> <p>地域防災計画上の位置付けとしては、防災活動拠点として、救援物資や資機材等の集配拠点、緊急医療拠点、情報収集・配信基地、防災関係機関の終結拠点を想定しており、備蓄倉庫として各避難所から要望のあった備蓄品を配送する備蓄拠点としての機能も考えている。</p> <p>また、木のぬくもりあふれる遊具が揃う木のゆうぐ広場や、視察の説明を受け、貸出しもしている多目的室、燻製設備を備えたキッチンスタジオ、屋根付きのイベント広場、直販所など、施設も充実しており、視察当日も開店から大勢の方々が詰めかけていた。</p> <p>将来的には厚木市にも必要になるであろう施設で、興味深く視察した。</p>
主な質疑	<p><b>Q</b> 財政負担について、防災道の駅に選定された後再整備されたが、財政負担は国がするのか。</p> <p><b>A</b> 国は、テックフォース活動スペースを含めた活動区域を整備し、財政負担をした。都城市の整備部分は一般財源、起債、交付金を使い整備した。ふるさと納税の充当もある。</p> <p><b>Q</b> 国で使用するのは場所だけか。市で整備した発電機などは国は使用しないのか。</p> <p><b>A</b> 場所的にはシームレスだが、機能的には国と市で分かれている。</p>